



せいゆうかん
星友館

せいゆうかんちゅうがっこう
星友館 中学校
がっこう
学校だより
れいわ ねんど だい ごう
令和7年度 第3号
ねん がつ にち
2025年 6月27日

し よろこ
知ることの喜び

こうちょう やまだ てつや
校長 山田 哲也

さて、お得意の“コロコロ”とともに校内を回っている校長ですが、授業のお邪魔になっていたことはありませんでしたか？ もし、学習に影響するようなことがありましたら遠慮なくおっしゃってくださいね。ただ、授業の様子を見学していると、「もうすっかり忘れていること」や「わかっているつもりでいたこと」などに気づくことが多く、私にとって新たな学びを得られる貴重なひと時になっていたりもします。



そんな私は草花や野菜を育てることが好きなのですが、6月上旬に池坊華道会主催のいけばな展「花いのちみらい」を鑑賞する機会があり、これまで知らなかった草花との向き合い方に触れてきました。本展には、本校の山谷先生も出品されており、先生とのお話やガイドブックを通じて“池坊いけばな”には3つのスタイルがあることを学びました。

学んだことはアウトプット（発信）することで知識として定着するそうですので、覚えてたの身ではありますが、少しでも紹介させていただきます。

- ・ 生花：使える花材は最大3種類まで。シンプルに草木のもつ個性や特徴を生かし、命のきらめきや生き生きとした姿を表す。
- ・ 立花：左右非対称に構成し、高さを遠くの景色、低さを近くの景色と見立てて時間や空間を表す。大自然の風景を様々な草木で表現。

- 自由花：花の種類や本数、植物以外の素材も含めて組み合わせは自由。
形や生け方に約束事がなく、作者の想いを自由に表現。

このほかに、いけばなでは満開の花だけではなく、つぼみや枯葉、虫食いのある葉を使うこともあるそうです。私も、育てている草花の姿を見て自分なりに楽しむことはありましたが、移ろいゆく植物の姿かたちや命の輝きを季節やテーマに沿いながら感じ取ろうとする経験は、今回のいけばな鑑賞が初めてのことでした。

本展の会場を出るころに豊かな喜びに満たされていた私は、「これからも“新たな世界”との出会いを楽しんでいこう！」と、心に刻んだのでした。



← (自由花として出品)
山谷先生の作品

【7月の予定】

*生徒登校が17:10からの日
7/3、8~11、15、24

- 9日(水)~11日(金) 個別相談②
- ・0時間目と4時間目に行います (2~4時間目の授業を1~3時間目に行う)
 - ・対象：個別相談①の欠席者、希望者、7月までの入学者



21日(月) 海の日

- 14日(月) ミニコンサート (16:50~)
- 17日(木) イドバタタイム (16:45~)
- 24日(木) 授業(1・2校時) → 清掃活動(3校時)
1学期終業式(4校時)
- 25日(金) 校外学習(カルチャーナイト)
17:00 学校集合・給食 17:30 学校出発

○夏季休業(夏休み)：7/26(土)~8/24(日)

○夏期講習(希望者)

7/28(月)、7/29(火)、8/21(木)、8/22(金)

ねっちゅうしょうよぼう

熱中症予防のために

- ・温度調節(通気性や吸湿性のよい服装など)
- ・こまめな水分補給、ほどよい塩分補給
- ・食事や睡眠をしっかりとる。



そうごう しょうがいがくしゅう

総合「生涯学習について」

- ・6月11日(水)3時間目に「生涯学習カフェテリア」に向けた説明が行われました。
- ・卒業後の生活の充実につながるような、新しいことを知るきっかけになるといいですね。

【一言メモ】今年度、全国で9校の

公立夜間中学が開校しました。

~愛知(2校)、石川、三重、滋賀、岡山、和歌山、長崎、鹿児島